

社長通信

No28号

会社は社員と社員の家族を幸せにすることが、社員はお客様を幸せにすることが使命であると私は考えています。
アストラックス株式会社
代表取締役 石川 均

弥生です。暑さ寒さも彼岸までといいますが、今年は3月18日が入り、同月24日が明けとなります。この冬は、過去最強の寒波到来ということで北海道ではマイナス30℃以下になったところもあったようです。でも、暖冬とのこと。地域によって格差が大きいのでしょうか。富士山を見ても雪が少ないのかなと思います。それでも暖かい春が早く来ないかなあ～と、待ち遠しい気持ちになります。一方で、この季節は花粉症の方には待ち遠しいという季節ではないでしょうね。かく言う自分も春先は花粉症に悩まされ、マスクをはずす事ができません。寒暖の差も大きい季節です。体調管理には十分留意されて下さい。

【会社の業況・行事について】

決算月となりました。一年本当に早いものです。今年度は、労働基準監督署からのご指導に基づき、労務改善を推し進めることを経営の柱に据えました。そのため、あえて売上高や損益目標に関しては、減収減益計画を立案致しました。

決算の見通しにつきましては、お蔭様で、目標値を売上高、損益とも上回ることとなりました。役員、社員の皆様のご尽力のおかげと感謝申し上げます。労務改善を推し進めながらの目標達成ですので、ご苦労はいかばかりかと思えます。

この一年を振り返れば、今年度は軽油の価格が上昇しました。4月に90円台に、6月には平成26年11月以来、約3年6ヶ月ぶりに100円台となりました。このため、軽油の平均価格は前期と比較して15円強上昇した価格で推移しました。一方、物量は当地区の多くの冷蔵庫が満庫の状態が続いているように、荷動きは鈍く、上向く気配の無いまま推移している状態です。ですから、計画に対しては達成することができましたが、前期までと比較して多少厳しい決算内容となる見通しとなっています。それでも、大きな事故もなく、改善基準告示に対して、拘束時間においても、違反件数においても、遵守に向けた方向性が定まってきた事は喜ばしい事と思っております。

次年度の計画について、昨年10月から計画策定を行い、計数面において、売上高は今期見通し額とほぼ同額としました。利益については、システム関係やパソコン関係の投資などを見込み、減益計画としました。

施策面については、今期と同様、労務改善を引き続き推し進めていく予定です。今年度内に改善基準告示違反件数の大幅な是正を図って生きたいと思っています。

そして、より一層利便性を高め、お客様に支持される企業となるよう努力して参ります。

来年度は11名の男性社員が入社します。一般入社1名(高校卒)、焼津マリーンズ選手が10名(大学卒4名、高校卒6名)です。詳細については、掲示板に掲載してご案内する予定です。集荷集配課に8名、配送センターに3名を配属します。

焼津マリーンズの選手達は通常の勤務形態と異なりますので、当初は試行錯誤となることも予想されますが、徐々に対応できればと思っています。

将来の会社を支えてくれる皆さんです。暖かくお迎えいただきたいと思えます。

【気になっています】

最近、はしかが大流行とのこと。感染度合いはインフルエンザの10倍とのこと。極めて感染力が強いウイルスです。合併症として肺炎や脳炎の恐れがあります。いずれの病も命に関わる危険性があります。ただ、予防接種により予防する事が可能な感染症です。1回のワクチン接種により9割方の方が免疫を得られるとされているそうです。2回の麻しん風しん混合ワクチン接種(MRワクチン)を定期接種化しています。はしかは手洗いやマスクでは予防ができません。子供の頃に感染したり、ワクチン接種をした記憶が無い方は、ワクチン接種をお願いします。